

【討議資料 1】 「この国のあり方」の実現に向けて 1) 政策の方向性

「生き生きと働ける社会」の実現に向けて

～ 大転換期における産業・雇用政策の展開 ～

【論点 1】: 「時代の峠」にふさわしい産業の展開

- 「競争的産業政策」と「地域密着型・生活密着型産業政策」の併用
 - ⇒ 「競争的産業政策」; 国際競争力のある次世代産業の展開
 - ⇒ 「地域密着型・生活密着型産業政策」; 地域への定住と定職の確保を促す産業の展開
例) 6次産業化、地域資源を活用した農商工連携 福祉・医療・介護等の対人社会サービス など
- 新規成長分野の戦略的展開
(参考) 「新成長戦略(基本方針)」 H21.12.30 閣議決定
 - ⇒ 強みを生かす成長分野(環境・エネルギー、健康)
 - ⇒ フロンティアの開拓による成長分野(アジア、観光・地域活性化)
 - ⇒ 成長を支えるプラットフォーム(科学・技術、雇用・人材)

○ インフラ整備の新展開

- ⇒ 施設・公物の維持補修などアセットマネジメント、ストック重視への転換
- ⇒ 情報基盤の整備
- ⇒ 従来型のインフラの扱い(整備が遅れている地方のインフラをどうするか)

【論点 2】: 人的資源、知的資源の充実・強化(新たな社会的インフラに位置づけ)

- 学校教育の充実(能力の発揮、多様な人材の育成)
- 積極的労働市場政策の充実 例) 生涯教育、高等教育、職業訓練 など
- 働く見返りの強化 例) 最低賃金制度、均等待遇、キャリアラダー制の導入 など
- 科学技術の振興、知的財産の蓄積・活用、多様な技術人材の育成

「生涯を通じて不安のない社会」の実現に向けて

～ 雇用と連動し、現物給付を重視したセーフティネット政策の展開 ～

【論点 1】: 労働市場に出るまでのセーフティネット政策の展開

- 子ども手当の充実
- 就学前保育サービス、放課後児童サービス等の充実
- 学校教育の機会均等化 など

【論点 2】: 現役世代が働くためのセーフティネット政策の展開

- 女性を含め誰もが労働市場に参画可能とする育児、養老などのサービス給付の充実
- 新しい産業社会が求める能力を育成する積極的労働市場政策の充実 など

【論点 3】: 退職などにより労働市場から離れた場合のセーフティネット政策の展開

- 安定的で持続可能な年金制度、高齢者医療制度、介護制度の構築 など

【論点 4】: 失業、疾病などの場合のセーフティネット政策の展開

- 持続可能な社会保障(社会保険、雇用保険等)の構築
- 医療サービスの基盤強化
- 労働市場に復帰するための積極的労働市場政策の充実 など

【論点 5】: 自ら所得を獲得できない場合のセーフティネット政策の展開

- 最後の砦としての生活保護と自立に向けた支援
- 子ども手当の充実(再掲) など

「家族や地域の絆が育まれている社会」の実現に向けて

～ 雇用やセーフティネットを支え、生活に張り潤いが得られる「居場所」、「出番」～

【論点 1】: 家族や地域の「絆」の再生

- 地域で子育て、若者、高齢者等を支え合う機能の醸成・充実と支援
- 地域の環境や文化の継承・創造など個性ある地域づくり機能の醸成・充実と支援

【論点 2】: 多様な主体の参画と連携

- 雇用やセーフティネットを補完・充実させる活動への支援
例) セーフティネット政策制度への参画、知識資源の共有・分かち合い
例) コミュニティビジネス、社会的企業、中間支援組織などの育成・支援